

参考資料

目次

- ・意見交換の流れ・・・P 1

意見交換①

- ・第2回ワークショップまとめ「魅力的な将来像」・・・P 3
- ・地域の特徴・・・P 4
- ・地形の特徴・・・P 5
- ・土地利用の特徴・・・P 6
- ・将来人口推計・・・P 7
- ・人口推移・人口割合推移・・・P 8
- ・人口動態マップ（15歳未満）・・・P 9
- ・人口動態マップ（15～64歳）・・・P 10
- ・人口動態マップ（65歳以上）・・・P 11
- ・交通アクセス（バス路線図）・・・P 12

意見交換②

- ・第2回ワークショップまとめ「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア」・・・P 14
- ・溝口エリアの公共施設一覧・・・P 15
- ・起点施設の紹介・・・P 20

意見交換の流れ

意見交換①

60分

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

起点施設周辺エリアの現状把握

将来像（暮らしやすいまち）を出し合う

理由について、聞き取り深める

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

徒歩圏内に
サードプレイス
（居場所）
がある

入りやすく
居心地のよい
交流の場がある

出た意見をシール投票で重みづけ



将来像を表す**短冊づくり**

ホッとする居心地の良いサードプレイスが溢れるまち

中間発表・休憩

意見交換②

65分

起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを考えよう

起点施設の現状把握

将来像を実現するために
起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを出し合う
（理由もなるべく書く）

若い人が気軽に集ま
れて交流が生まれる
拠点があるとよい

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがある
とよい（地域活動等）

相手方施設
にあった方
がよい場合
についても
考える

発表・まとめ

シール投票で発表する
内容を絞り込む

意見交換①

第2回ワークショップまとめ「魅力的な将来像」

【高津区】第2回ワークショップでまとめた「魅力的な将来像」

- ・ 地域商店が活性化している
- ・ ソフトとハードの両面からバリアフリーが充実している
- ・ 住宅地にもスポーツ施設や公園が多い
- ・ 知識の集まるまちへ
- ・ 子どもの医療費や給食費の無償化
- ・ 子どものケアワーカーもいる地域
- ・ 喫茶スペースなどの働く世代向けのコミュニティスペースがある
- ・ 平日夜まで利用できるコワーキングスペース
- ・ 高津区が推すべきスポーツの中心地として夢パークを多角的な利用ができる施設へ
- ・ 歩道が広く、屋根のある歩道に になって安全に通行できるようになっている
- ・ ステージイベントやマルシェなどができる、コミュニティスペースがある
- ・ 高齢者や障がいのある方も働ける場があり、そういった場所を紹介できるサービスもある
- ・ 区役所が多目的化し、複合的な施設や拠点になる
- ・ ダンスやBMX など子どもへのスクールで地域を盛り上げよう
- ・ 高津兄弟。プロスポーツ選手誕生、ミュージシャン誕生。音大の施設を有効活用。ストリート→アスリートへ
- ・ 災害に強い公共施設をつくっていく

起点施設周辺における地域の将来像の意見交換に使用します。

地域の特徴 ～高津区～

参考資料

ワークショップ第1回 概要とゆめ

- ・橋上駅舎化による、開かずの踏切の解消に期待
- ・飲食店や魅力的な店舗が少ない
- ・踏切と交差点が近接している

- ・丘の上の住宅地は坂が急で、高齢者等は移動が不便
- ・緑ヶ丘霊園の緑がきれい
- ・桜並木は将来も残していきたい資源

- ・通勤時間帯に溝口駅に向うバスの利用者が集中
- ・道が狭く、溝口に向う道路が渋滞している
- ・平瀬川が整備され、洪水被害がなくなった

- ・大型の商業施設があり便利
- ・個店が多く、赤坂系のお店などもあり面白い
- ・若い世代が滞在できる店やレクリエーション施設が少ない
- ・南口方面は、学生が立ち寄りたくなる場所づくりや文教地区にふさわしい景観づくりが必要
 - ・中心部に駐車場や未利用地が増加
 - ・2路線の乗換駅で交通利便性が高い
 - ・道路が狭く、駅周辺が渋滞している
 - ・踏切付近の歩行者の通行が多く危険
 - ・駐輪場がまだ足りていない
- ・旧平瀬川跡地を緑道化し、地味なまちづくりが必要

- ・ファミリーが多く活気がある
- ・通勤時間帯は混雑が激しい
- ・抜け道として利用される道路の交通量が多く危険

静で、子育てに良い環境
古い住宅地の交流が少ない
より市街地が分断されている
やごちゃしている
園の桜がきれい
直売所等を運営している
が進んでいる

- ・住宅と工場の混在化が進行
- ・工場と近隣住民との関係構築が進行
- ・店舗が少なく生活が不便
- ・駅やバス停から離れていて通勤が不便
- ・道が狭く、車両のすれ違いが困難

多摩川河川敷

- ・地域の歴史・文化的な資源
- ・知名度が低く、イベントの実施も知られていない
- ・沿道の商店街の衰退が進行し、マンション化が進んでいる
- ・歩行者空間が狭く、路側帯に電柱があるため歩行者が車道にはみ出し危険
- ・二ヶ箇用水周辺も景観は良くなっていない

駅周辺

- ・ 面白いお店が多く、新しいお店も増えている
- ・ 多摩川が近く恵まれた土地
- ・ スーパー等があり買物に便利
- ・ 駅前の道路が狭く通行しにくい
- ・ 休日、多摩川へのレジャー客の待遊場所がない

住宅地

- ・若い世代の流入が多い
- ・道路が狭く、一方通行など分かり難い道が多い
- ・梨園が昔と比べて少なくなった
- ・老朽化した木造住宅が密集し、道も狭い
- ・多摩川の近くは土地が低く、豪雨時に下水が溢

- ・住宅と工場の混在化が進行
- ・工場と近隣住民との関係構築が進行
- ・店舗が少なく生活が不便
- ・駅やバス停から離れていて通勤が不便
- ・道が狭く、車両のすれ違いが困難

- ・物価が安い
- ・スーパーや商店街が多く買物に便利
- ・駅前のバス通りが狭い
- ・通勤時間帯にバスからの乗換えて駅前が混雑

・小規模な公園が多く、子どもの遊び場が

- ・幹線道路沿いに店舗があり、買物は便利
- ・通勤時間帯の房手黒川道路の混雑がひどく、生活道路にも通過交通が流入している
- ・バスが通る道が狭く、すれ違いが危険
- ・各地へのバス路線があり便利だが、主要な幹線道路から離れた地域ではバスが少なく不便
- ・江川沿いがきれいに整備されている
- ・自然が多い

- ・町内会活動等が活発だが、参加率が低下してきている
- ・町内会活動や市民活動で集まる場が足りない
- ・住宅地は街路灯が少なく、暗くて危険
- ・子どもの遊び場としての公園やスポーツの場が少ない
- ・農地の宅地化が進み、緑も減少
- ・区内各地から溝口に向かうバスへの充実が必要
- ・自動運転など次世代のモビリティに対応したまちづくりの検討が必要
- ・緑の保全は難しい面もあるため、失われた分について別の場所で割出に努める
- ・緑量維持をめざす」という考え方もある

溝口エリアの概ねの位置

凡例

地域生活拠点

身近な駅周辺

駅からのアクセス

平たん部居住地

 住下現在地地

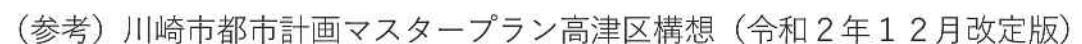
●

—— 河川

★ 地域資源等

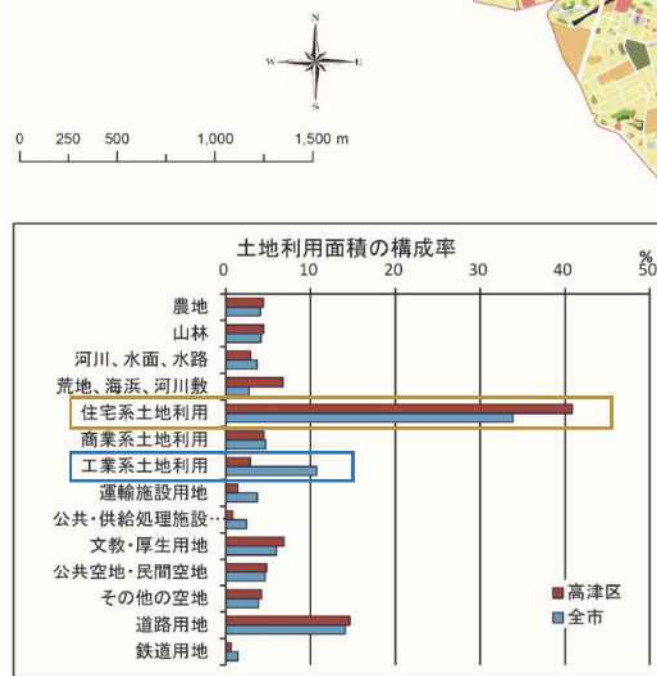
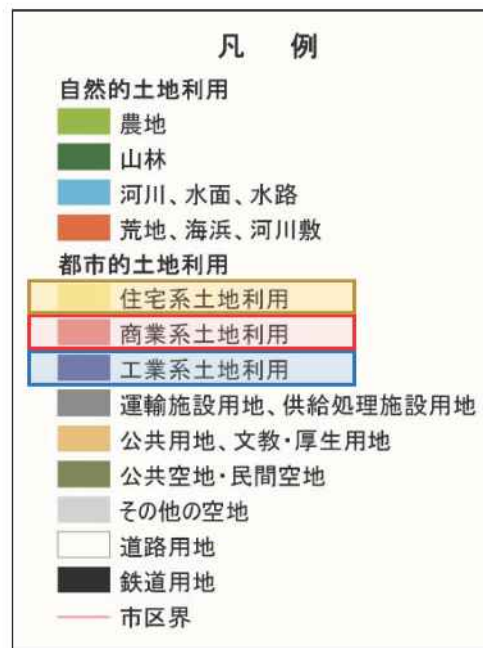
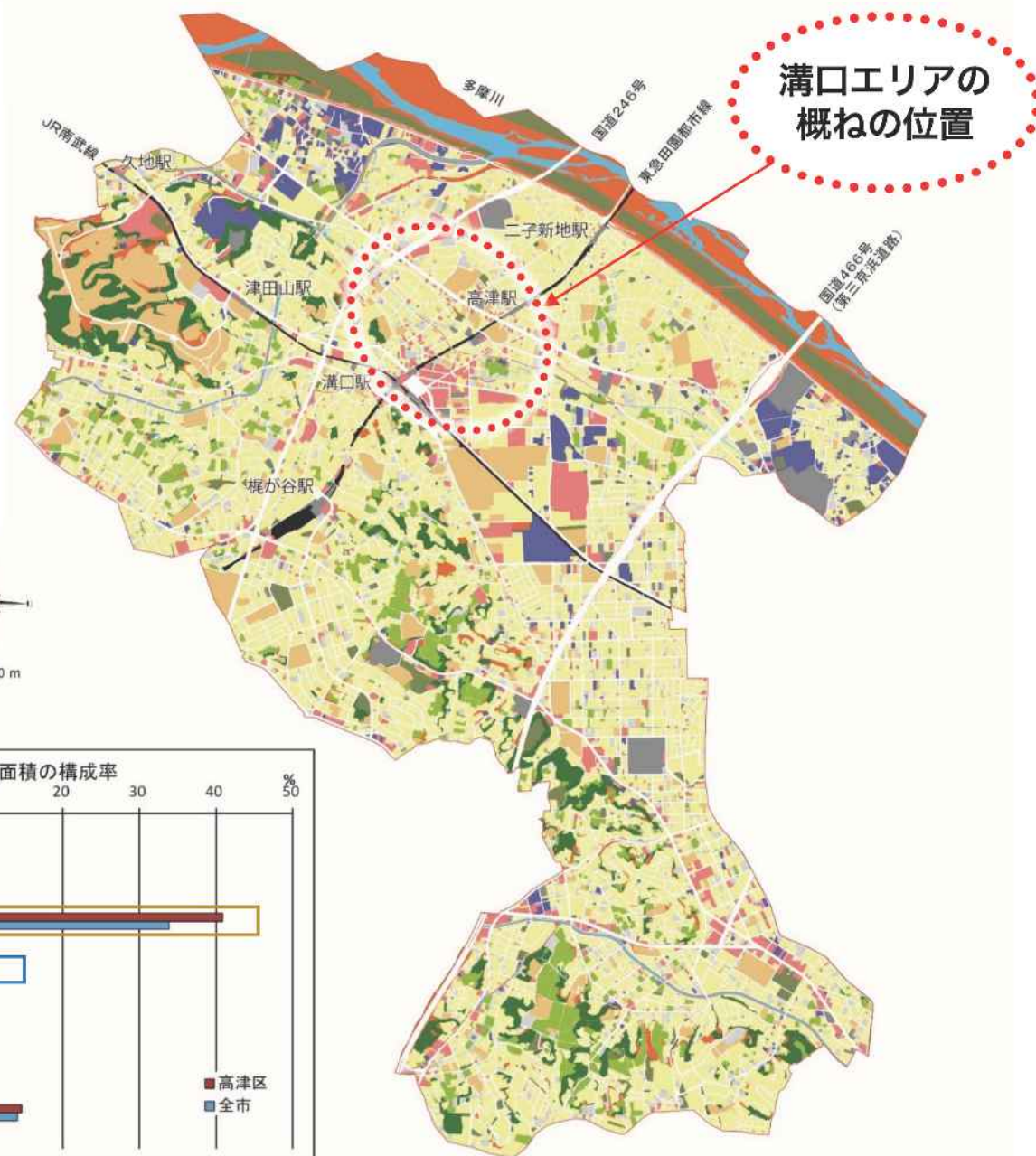
身近な生活圏

- 高津区は本市のほぼ中央に位置し、多摩川や二ヶ領用水の流れる平たん地と、多摩丘陵の東端部にあたる丘陵地で形成され、豊かな水辺空間と起伏のある地形が特徴となっています。
- 溝口周辺は平坦な地形となっています。



土地利用の特徴 ～高津区～

- 高津区の土地利用面積の構成をみると、全市平均と比べて農地や山林の割合、商業系土地利用の割合ともに、全市平均とほぼ同程度であり、**住宅系土地利用の割合は高い**状況です。
- 工業系土地利用の割合は、川崎区、中原区に次いで3番目に高い水準です。**JR南武線沿線から多摩川沿いの一部で、まとまった**工業系土地利用**が見られますが、**住宅系土地利用と混在**しています。
- 溝口駅などの駅周辺、主要な幹線道路の沿道などに商業系土地利用の集積**が見られます。

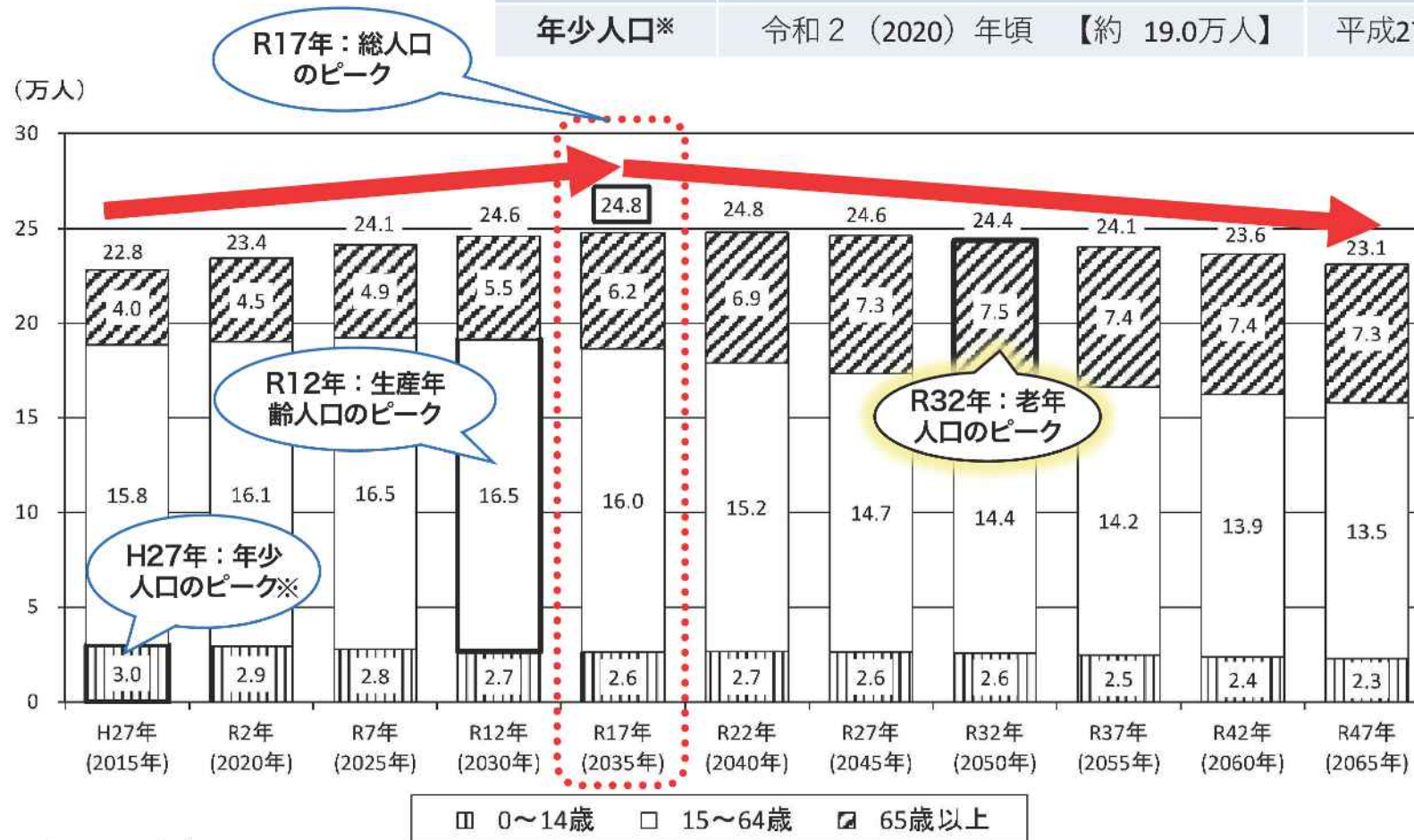


(参考) 川崎市都市計画マスタープラン高津区構想 (令和2年12月改定版)

将来人口推計 ～高津区～

- 高津区の人口は**令和17（2035）年頃の約24.8万人をピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- また、**市全体の推計と比べると、老年人口はピークが同じで、年少人口のピークが早いこと、総人口、生産年齢人口のピークが遅いことが特徴です。**

項目	川崎市全体（【 】は人口）	高津区
総人口	令和12（2030）年頃 【約160.5万人】	令和17（2035）年頃
老年人口	令和32（2050）年頃 【約47.5万人】	令和32（2050）年頃
生産年齢人口	令和7（2025）年頃 【約106.0万人】	令和12（2030）年頃
年少人口※	令和2（2020）年頃 【約19.0万人】	平成27（2015）年頃

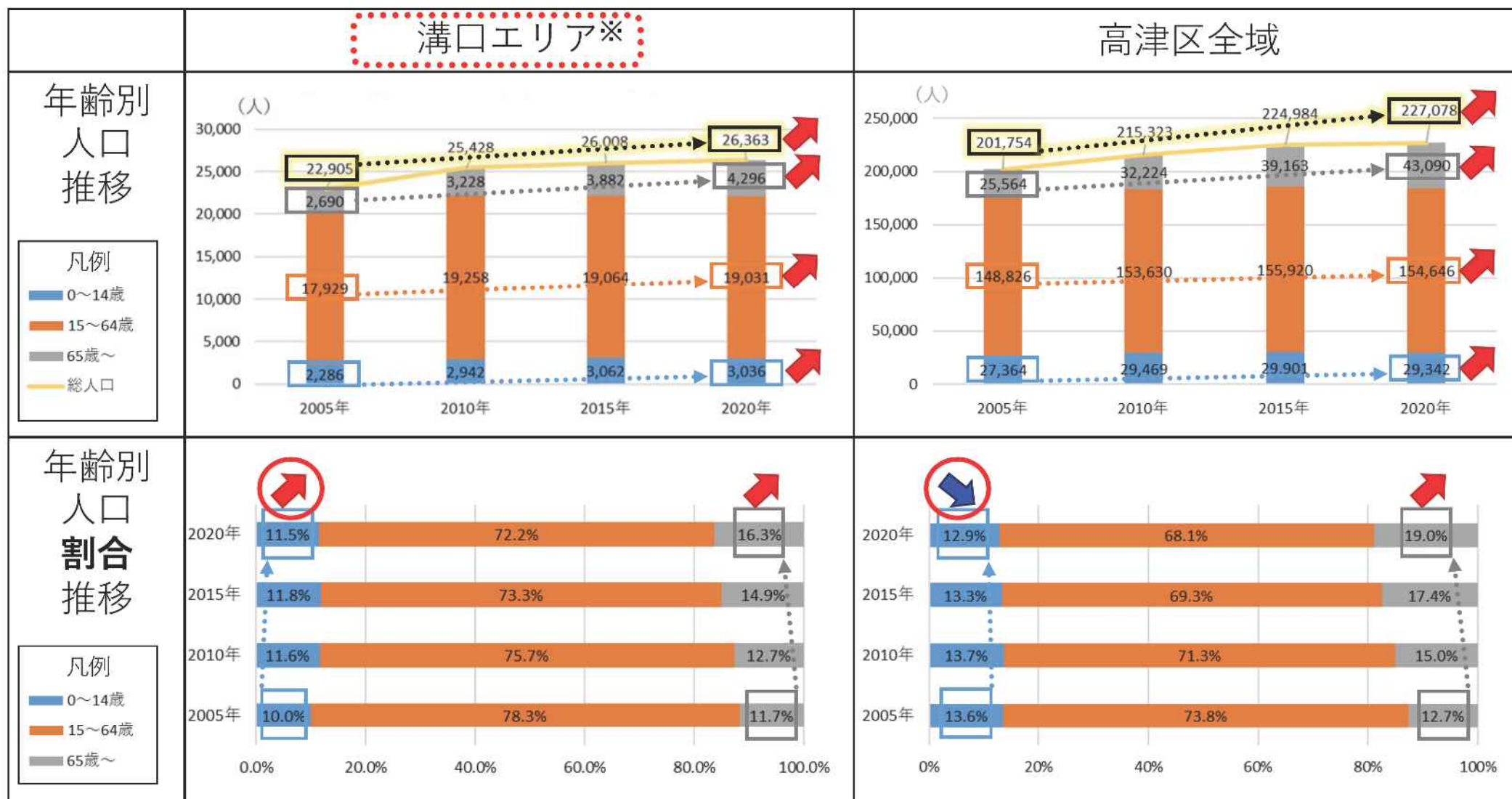


※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

人口推移・人口割合推移 ～高津区～

- 「年齢別人口推移」をみると、溝口エリアは、**総人口**、**老年人口（65歳～）**、**生産年齢人口（15～64歳）**、**年少人口（0～14歳）**はいずれも**増加傾向**（区全域でも**増**）となっています。
- 「年齢別人口割合推移」では、溝口エリアは、**年少人口（0～14歳）**が**増加傾向**（区全域は**減**）、**老年人口（65歳～）**も**増加傾向**（区全域でも**増**）となっています。



人口動態マップ（15歳未満） ～高津区～

- ・ 町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**宇奈根、久地**でその**割合が高く**なっています。
- ・ **溝口1～5丁目、二子4・5丁目**などでは、一定の15歳未満の人口割合があることが確認できます。

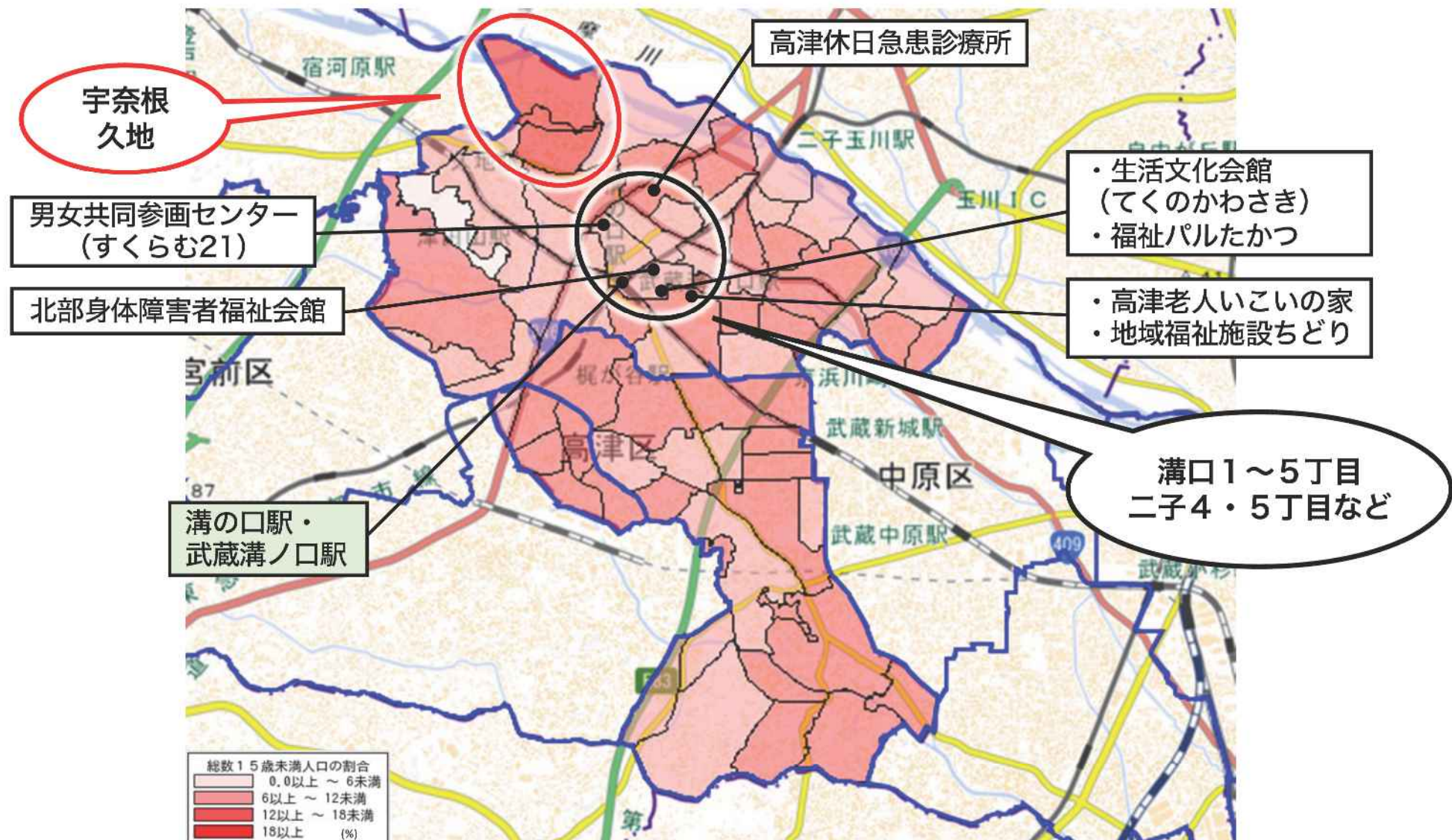


図 高津区の町丁目別15歳未満の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

人口動態マップ（15～64歳） ～高津区～

- ・町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、**溝口1～5丁目、二子4・5丁目などで割合が高くなっている**一方で、**新作3丁目、千年、久末、子母口などでは低い割合**となっています。

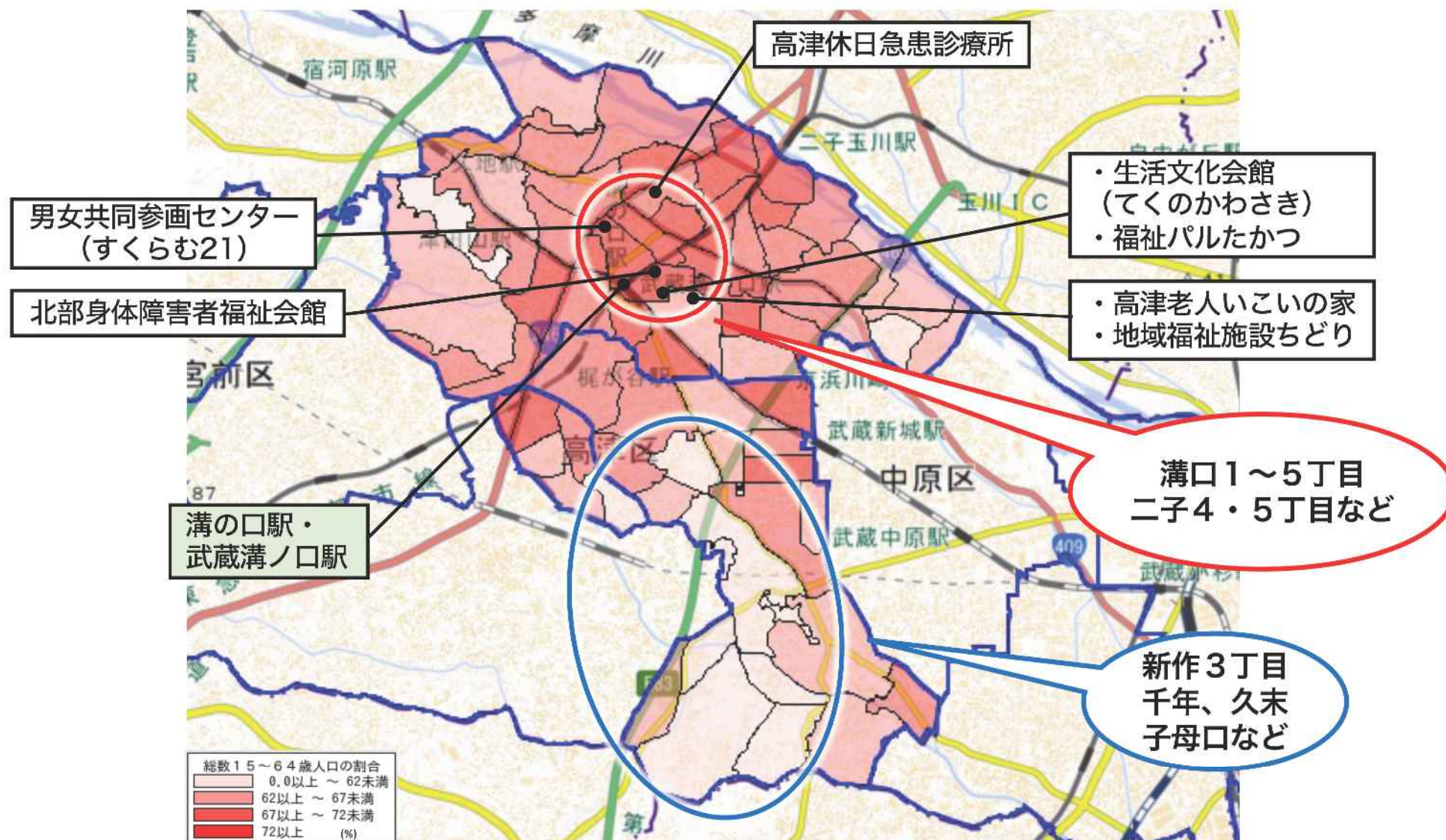


図 高津区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

人口動態マップ（65歳以上） ～高津区～

- ・ 町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**下野毛1・2丁目**や**新作3丁目**、**千年**、**久末**などで割合が高く
なっている一方で、**溝口1～5丁目**、**二子4・5丁目**などでは**低い割合**となっています。

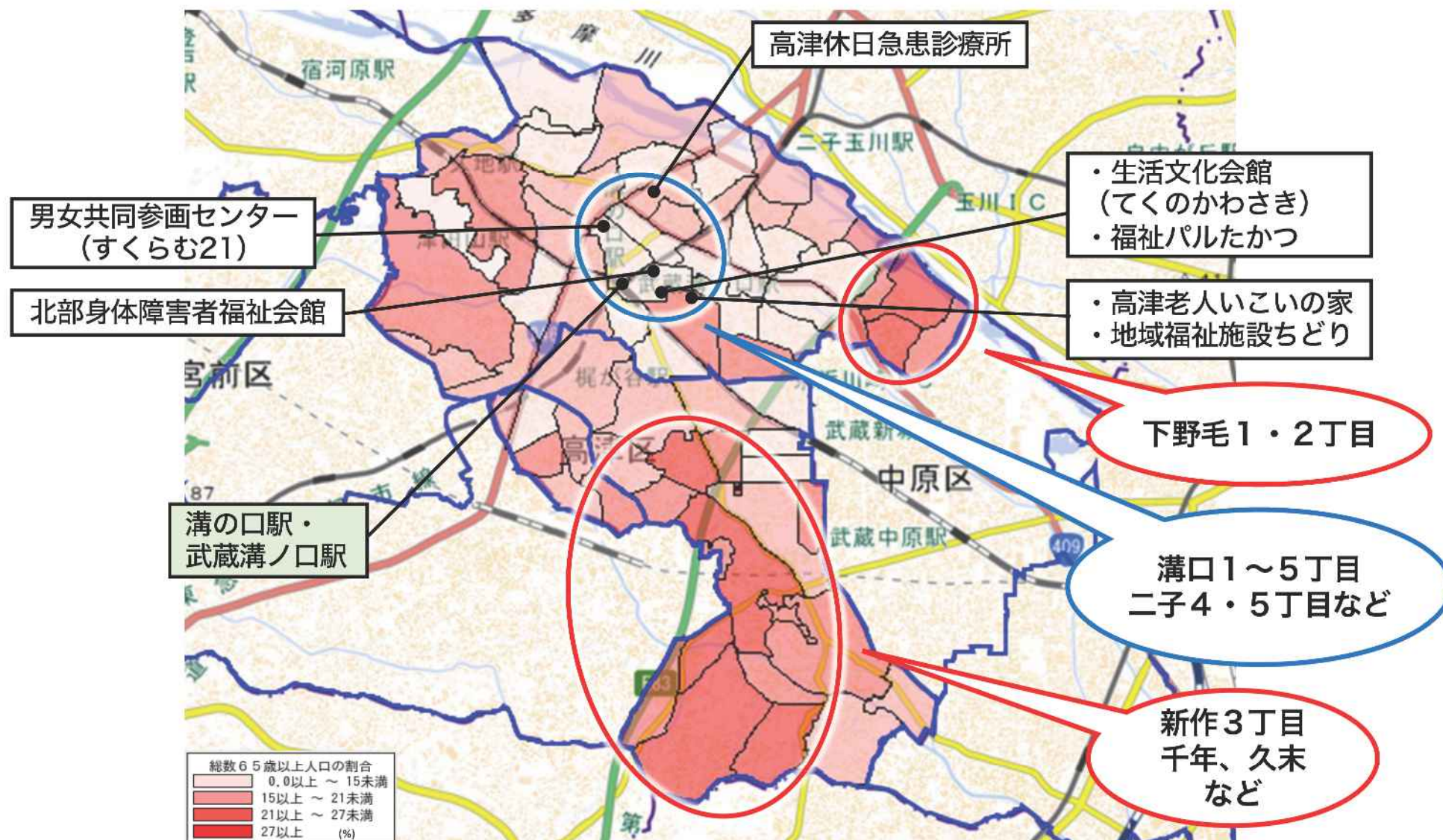


図 高津区の町丁目別65歳以上の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

意見交換②

【高津区】第2回ワークショップまとめ 「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア」

パーソナルモビリティのライドシェア拠点
(バリアフリーの充実→移動の充実。パーソナルモビリティのネットワーク化→公園などに落とし込む)

人と出会ったり交流したり出来る場「ふるさと館」を人が行きたくなる拠点に。
(泊まれて宿場体験、楽しく歴史を学べる。)

歩道が広く、安心して歩けるまち。
(車いす・ベビーカーでも歩きやすい、学校のなかのバリアフリー化、屋根がある歩道、外出したくなるまち)

地域特化型「情報発信基地」
(ミニFM、楽しい・おいしい・防災・防犯のストーリーミングTV)

夢パークを文化・スポーツ・教養の中心拠点にし、近隣小学校とリンクさせ、多世代が活用できるように工夫。

まちの多世代・多属性コミュニケーションを大切にしよう。既存の空きスペース(学校、公園、空き店舗)を有効に活用して、リアル体験を通してコミュニケーションをとる。家庭菜園、廃材クラフト)

「オリエンテッドin高津」マルチ世代によるスポーツ・カルチャーの交流拠点
(公共施設を使ったマルチ世代交流。興味、趣味のマッチング)

単身者、働き世代が使える、喫茶付きコワーキングスペースを図書館に。
(高津図書館、小黑記念館)

ダンス・BMX等の高津で売り出し中のものを中心に、様々なジャンル(音大・クラブ)同士でコラボしながら、子どもたちへの教育、育成を進めて聖地化しよう。

老人向けの施設に限らず、徒歩で行ける施設を様々な世代が使うようにする。
(こ文や小学校なども老人も使う)

規模は減っても、支援が必要な子どものケアサービスは無くさない。支援学校と福祉サービスの連携強化。

MADE in高津を目指して、コミュニケーションから派生したブランド・情報・ビジネスへつなげる。拠点は多機能で、子どもが運営に関わることできる。

安価な入居費でスタートアップ企業向け団地を。施設の保全、管理はしっかりする。地域のお年寄りが仕事として活躍できる場にする。小中学校等の施設はきっと余ってくる。

高齢者の働くしくみ×空き家活用。
(障がいのある方の働く場にもなる・人を紹介するサービス(行政が担う)。インフラ整備にもなる、企業と連携をする、事業にできそう。)

全ての基本として「安全」で災害に強い公共施設とまちづくりにする
(普段から通っている場所が避難所になる・民間のスペースを使う場合は基準を設ける)

地域内の交流イベントに対して公共施設の貸出や補助をする。地域のつながりづくりや、老人の外出機会の創出で健康寿命をのばす。

区役所が複合施設になるとよい。
(図書館と統合する、多目的化をする、飲食できる場所になる、人の集う場所になる)

溝口エリアの公共施設一覧 ～高津区～

溝口エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 (築年数※)	年間利用者数 (人)
1	庁舎施設	高津区役所 	高津区下作延2-8-1	・条例に基づき設置。主に高津区在住の市民及び市民団体に対し、各種サービス、手続きを提供。	10276.9	1992/11/30 (築31年)	—
2	庁舎施設	高津区役所道路公園センター 	高津区溝口5-15-7	・道路・河川・水路・公園・緑地・緑道の維持管理や事務を実施している。 ・利用者は職員及び関係事業者、各事業に伴う許認可申請者、関係地権者、町会・自治会関係者等。	1157.56	1986/4/1 (築37年)	—
8	消防施設	高津消防署 	高津区二子5-14-5	・消防力の基盤となる防災拠点であり、消防法に基づく業務（予防・警防・救急）を実施している。高津区における災害本部としての役割もある。	2141.81	2005/4/14 (築18年)	—
14	消防施設	高津消防団高津分団溝口班器具置場 	高津区溝口4-15-17	・地域に密着した防災活動機関として、各消防署の管轄区域単位に設置されている消防団の活動拠点。消防団員の詰所、活動資器材置場、車庫等の役割。	51.84	1985/3/30 (築39年)	—
22	学校施設	高津小学校 	高津区溝口4-19-1	・創立：1912年 ・学級数42、児童数1,222人（令和5年5月1日時点）	11057.5	1998/2/27 (築26年)	—
26	学校施設	西高津中学校 	高津区久地1-10-1	・創立：昭和32年4月1日 ・学級数30、生徒数888人（令和5年5月1日時点）	9641.93	1991/12/25 (築32年)	—

溝口エリアの公共施設一覧 ～高津区～

溝口エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 (築年数※)	年間利用者数 (人)
28	学校施設	中央支援学校 	高津区久本3-7-1	・創立：昭和37年4月1日	9641.75	1991/1/31 (築33年)	—
30	学校施設	ゆうゆう広場たかつ (総合教育センター幼児教育センター) 	高津区溝口4-19-2 (複合施設)	みぞのくち保育園（高津小学校内）と複合 ・心理的な理由や様々な事情から学校に行けない、もしくは行きにくくなっている小中学生を対象に、小集団による体験活動や学習活動を通して、学籍は在学校のままで、子どもたちの成長を見守る施設。	571.07	2002/3/29 (築22年)	—
31	学校施設	総合教育センター 	高津区溝口6-9-3	・教育に関する調査研究及び教職員の研修、特別な教育的ニーズのある子どもへの支援や教育相談、教育の情報化への支援などの事業を実施。カリキュラムセンター、情報・視聴覚センター、特別支援教育センター、教育相談センターと総務室から構成。	7740.18	1985/12/14 (築38年)	—
32	市民活動・社会教育施設	高津市民館 	高津区溝口1-4-1	・社会教育法に基づく「公民館」と大ホールやギャラリーを備えた「文化会館」の2つの機能を持つ都市型施設を、市民館として設置し、施設提供事業や社会教育振興事業の実施を通じて市民の自発的・主体的な学習活動を支援している。	8373.38	1997/9/12 (築26年)	90,289
33	市民活動・社会教育施設	生活文化会館（てくのかわさき） 	高津区溝口1-6-10 (複合施設)	福祉バルたかつと複合 ・市内技術・技能職者の拠点として、技能職者の相互交流や技能水準の向上を図り、後継者の育成に努めるとともに、市民が多目的に利用し、技能職者と親しく交流しながら技術・技能への理解を深め、技能を尊重する社会の形成及びその振興に寄与するための施設。	3433.57	1969/4/30 (築54年)	152,862
34	市民活動・社会教育施設	男女共同参画センター 	高津区溝口2-20-1	・男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動に参画する男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする施設。	3337.07	1974/3/31 (築50年)	112,902

溝口エリアの公共施設一覧 ～高津区～

溝口エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）			
					延床面積 （㎡）	建築年月日 （築年数※）	年間利用者数 （人）	
35	市民活動・社会教育施設	高津図書館		高津区溝口4-16-3	・図書・資料の収集、貸出・返却、レファレンスサービスや読書相談、読書普及活動、市民の課題解決に向けた図書・資料コーナーの設置、障害のある方への対面朗読や郵送貸出サービス、地域資料（郷土資料等）の収集・提供・企画展示などの取組を行っている。	2196.35	1987/6/30 （築36年）	295,934
36	市民活動・社会教育施設	高津スポーツセンター		高津区二子3-15-1	・スポーツのために施設及び設備を利用に供するための貸館機能（大体育室、小体育室、トレーニング室、武道室、研修室）。その他、スポーツの指導及び助言に関すること、スポーツ及び体力についての相談に関すること、各種スポーツ教室の開催に関すること、スポーツの指導者育成のための研修会及び講習会の開催に関することを事業内容として機能している。	4673.43	1997/2/25 （築27年）	249,108
40	市民活動・社会教育施設	大山街道ふるさと館		高津区溝口3-13-3	・大山街道や高津の歴史・民俗に関する資料の展示、貸室、地域活性化事業等を実施する施設。展示室の閲覧、貸室（地域団体の会議や、サークル等趣味の利用）、各種講座の受講など。	1094.6	1992/3/31 （築32年）	64,068
48	福祉施設	高津小学校わくわくプラザ		高津区溝口4-19-1	・放課後や土曜日・長期休業期間などに、小学校施設を活用して、児童の安全な居場所及び遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを通して、異なった年齢層の交流と仲間づくりを支援している。	271.33	2003/3/1 （築21年）	32,726
54	福祉施設	二子こども文化センター		高津区二子5-14-61	・こどもの健全育成のため、利用者に対して遊びの指導や健全育成に資するサービスを提供している。児童福祉法上の児童館の位置付けであり、集会室、遊戯室、図書室等や事務執行に必要な設備を備えた施設。	345.64	1986/3/30 （築38年）	27,467
55	福祉施設	高津こども文化センター		高津区溝口3-10-8	・こどもの健全育成のため、利用者に対して遊びの指導や健全育成に資するサービスを提供している。児童福祉法上の児童館の位置付けであり、集会室、遊戯室、図書室等や事務執行に必要な設備を備えた施設。	331.4	1982/3/31 （築42年）	36,297

溝口エリアの公共施設一覧 ～高津区～

溝口エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 (築年数※)	年間利用者数 (人)
60	福祉施設	みぞのくち保育園（高津小学校内） 	高津区溝口4-19-2 (複合施設)	ゆうゆう広場たかつ（総合教育センター幼児教育センター）と複合 ・保育園貸付施設、公立保育所からの民営化 ・みぞのくち保育園としての開設年月日：平成28年4月1日 ・定員：120人（0歳：9人、1歳：18人、2歳：21人、3歳：24人、4歳～5歳：48人）	806.16	2002/3/29 (築22年)	—
69	福祉施設	高津老人いこいの家 	高津区久本3-6-22 (複合施設)	地域福祉施設ちどりと複合 ・高齢者の教養の向上及びレクリエーション活動に関する事業の実施、利用者の自主活動に対する活動の場を提供している。各施設には、大広間、日常訓練動作室、クラブ室、談話室、浴室、静養室、事務室などを設置。	351.64	1983/12/15 (築40年)	10,468
70	福祉施設	北部身体障害者福祉会館 	高津区溝口1-18-16 (複合施設)	わーくす高津と複合 ・市内に居住する就労が困難な在宅心身障害者のため、デイ・サービスを中心に、障害者の福祉の増進に関する各種相談・指導事業を行う地域利用施設。	397.8	1982/3/31 (築42年)	11,824
71	福祉施設	わーくす高津	高津区久本3-6-22 (複合施設)	北部身体障害者福祉会館と複合 ・障害者就労支援施設として、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援に関することや特定相談支援に関する事業を行う施設。	439.1	1982/3/31 (築42年)	—
72	福祉施設	地域福祉施設ちどり 	高津区久本3-6-22 (複合施設)	高津老人いこいの家と複合 ・社会福祉法人に委託し、会議室貸出業務を行っている。福祉関係者の会議の場として使用。	616.16	1983/12/15 (築40年)	6,670
73	福祉施設	福祉バルたかつ 	高津区溝口1-6-10 (複合施設)	生活文化会館（てくのかわさき）と複合 ・地域福祉の総合的拠点施設として、市民福祉の増進を図るための施設。事業内容としては、地域福祉推進事業・ボランティア活動振興事業等を行うほか研修室・ボランティアコーナーの貸出を行っている。	318.61	1969/4/30 (築54年)	2,817

溝口エリアの公共施設一覧 ～高津区～

溝口エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 (築年数※)	年間利用者数 (人)
74	環境衛生 施設	高津休日急患診療所 	高津区溝口5-15-5	・診療科目： 内科・小児科 診療日： 日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3） 受付時間： 9:00～11:30、13:00～16:00 ・休日における市民の初期救急医療を確保するため、各区に1か所設置されている。視聴覚検診、心臓病検診などが実施されているほか、各区医師会において地域医療に資する会議や、市・区が医療・健康に関する会議等として利用するなど、地域における医療活動の拠点として活用されている。	660.35	1979/11/30 (築44年)	1,032
80	環境衛生 施設	溝口駅前広場公衆トイレ 	高津区溝口1-2	・駅前等整備事業（溝口駅北口地区市街地再開発事業）の一環で建設され、以後、市で維持管理している。24時間、誰でも利用できる公衆トイレ。	87.42	1997/9/5 (築26年)	—
81	環境衛生 施設	溝口駅前南口公衆トイレ 	高津区溝口2-1	・駅前に建設後、市で維持管理している。24時間、誰でも利用できる公衆トイレ。	31.62	2009/12/10 (築14年)	—
87	市営住宅 施設	二子市営住宅 	高津区二子4-11-1	・高津駅徒歩10分 ・管理戸数：32戸	1655.93	1972/1/26 (築52年)	—
93	交通施設	溝口乗車券発売所 	高津区溝口1-3-1 (ノクティブラザ B1F)	・市バス乗車券の販売等。	24.79	—	—

起点施設の紹介 ～高津区～

男女共同参画センター (すくらむ21)

(1/2)

施設概要：男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動に参画する男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする施設。

男女共同参画を推進する活動拠点として、講座・研修・イベント事業、相談・居場所事業、情報収集・提供事業、広報事業、調査研究事業、連携・ネットワーク事業に取り組んでいます。

利用時間：月～日 8:30～21:30（休館日：第3火曜日）

対象者：制限なし「ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)」への登録が必要

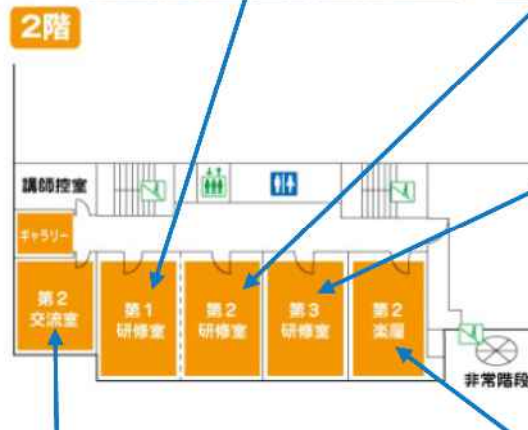
築年数：50年（R6.3.31時点）

年間利用者数：112,902人（川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】）

外観



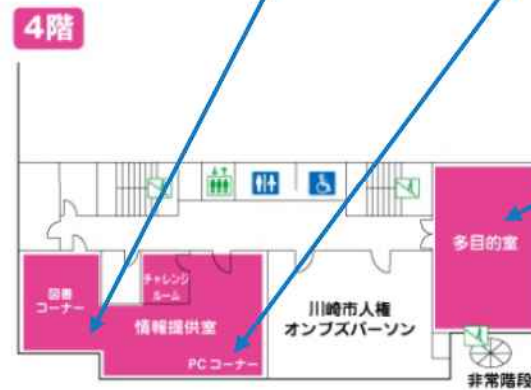
850席



起点施設の紹介 ～高津区～

男女共同参画センター (すくらむ21)

(2/2)



音響・スクリーンを無料にてお使いいただけます。
着座での小発表会や上映会場として利用いただけます。

鏡を使った(20名くらいまでの)ダンスレッスン
や武道、フラダンスにもご利用可能です。

※ただし、完全防音のお部屋ではございません
ので、打楽器・管楽器の演奏・練習会場として
はご利用いただけません。

※お子さん対象のイベント利用については別途、
予約前にご相談ください。お遊戯会等については
ホールをご利用ください。



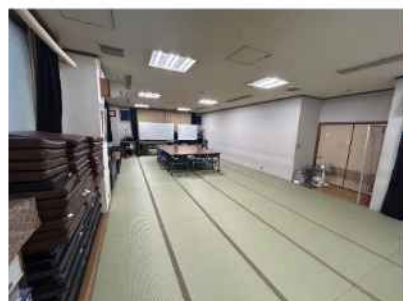
起点施設の紹介 ～高津区～

北部身体障害者福祉会館

※「わーくす高津」との複合施設



外観



手話講習会、点字、拡大写本等で利用



施設概要：市内に居住する就労が困難な在宅心身障害者のため、デイ・サービスを中心に、障害者の福祉の増進に関する各種相談・指導事業を行う地域利用施設。

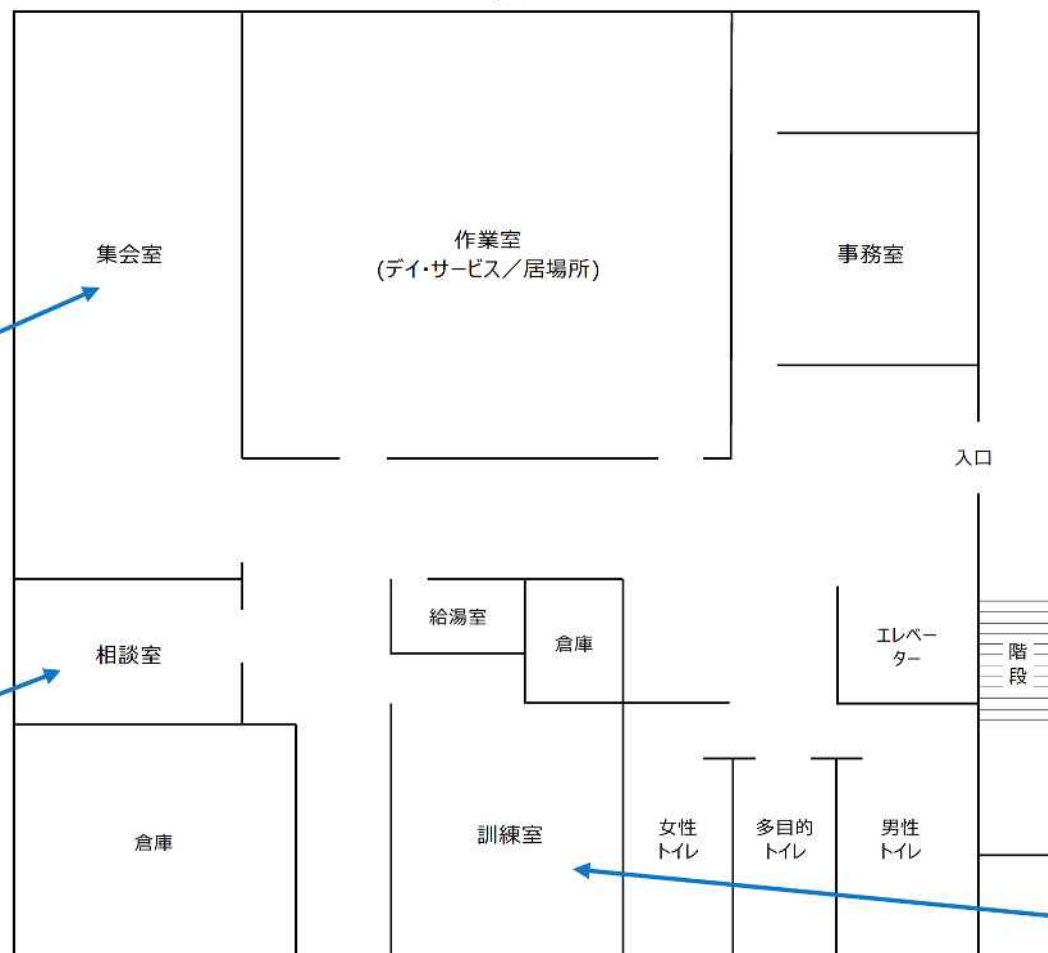
利用時間：月～土 8:30～21:00、日 8:30～17:00

対象者：当事者、ボランティア団体、関係機関（事前登録必要）

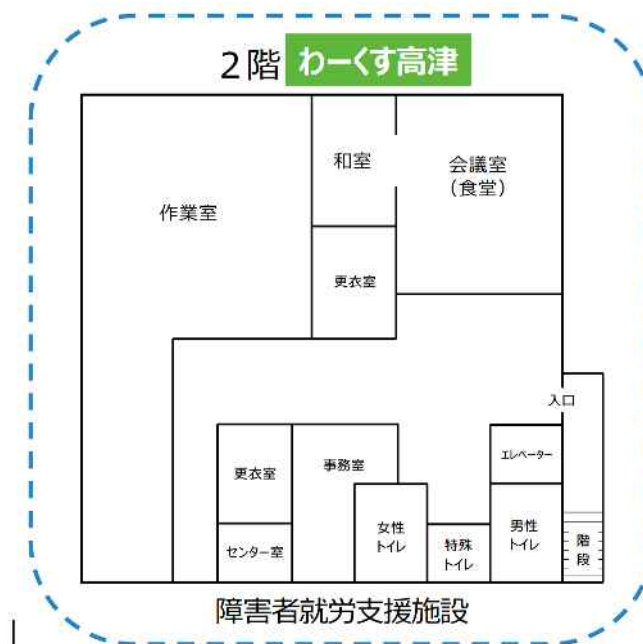
築年数：42年（R6.3.31時点）

年間利用者数：11,824人（川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】）

1階



2階 わーくす高津



起点施設の紹介 ～高津区～

高津区休日急患診療所



外観

施設概要：休日における市民の初期救急医療を確保するため、各区に1か所設置されています。視聴覚検診、心臓病検診などが実施されているほか、各区医師会において地域医療に資する会議や、市・区が医療・健康に関する会議等として利用するなど、地域における医療活動の拠点として活用されています。

利用時間：日曜・祝日・年末年始（12月30日～1月3日）9:00～11:30、13:00～16:00

対象者：制限なし

築年数：44年（R6.3.31時点）

年間利用者数：1,032人（川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】）



ロビー



診察室



小会議室



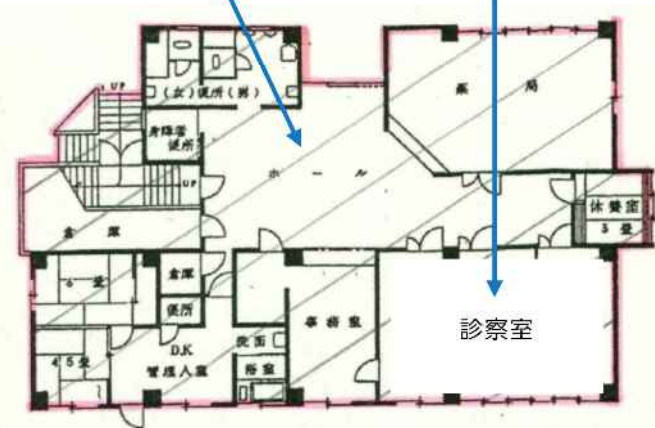
研究室



図書室



大会議室



1階



2階



3階